

議会だより

しらたか

2017年1月23日発行
(平成29年)

Vol.133

山形県白鷹町議会
12月定例会

「うん！うまい！おっかわり～！」

荒砥小学校 給食の時間

13頁に関連記事

未来へ向けて4つの提言 2p

ここが聞きたい（3議員が熱弁） 6p

議会の疑問に答える

「議会になにが？」 14p

づくりへ提言



12月 定例会

定例会は12月6日から13日までの8日間で開催され、28年度補正予算、条例の改正、工事請負契約の変更などについて審議し、すべて原案のとおり可決しました。

提言2 安心安全なまちづくり

- ◆ 豪雨災害箇所の再被災対策
- ◆ 自主防災組織の強化・設備等の充実
- ◆ 地域の実情に応じた除排雪の充実
- ◆ 危険交差点の早急な安全対策



心を込めて真剣に

提言4 経済の活性化

- ◆ 若者・女性の定住に向けた就労の場の確保
- ◆ 受注拡大や企業誘致等の拡充
- ◆ 新たな農業政策を踏まえ持続可能な支援継続
- ◆ 農産物などの6次産業化の推進
- ◆ 森林再生の支援策と緑の循環システムの確立



森林再生の第一歩（境界確認）

魅力あるまち

政策提言書を提出

議会では、町の課題を各常任委員会や全員協議会で協議し、新年度予算に反映されるよう12月7日、町長に提言書を手渡しました。

提言1 少子・高齢社会における対応

- ◆ 子育て支援の更なる充実や包括支援センターの整備
- ◆ 高齢者・障がい者など広範囲にわたる支援
- ◆ 「出会いの場」の創出など婚活支援策の拡充
- ◆ Iターン・Uターンなど積極的な移住推進
- ◆ 町立病院の町民ニーズに合った医療体制の充実



絵本でおべんきょう（愛真こども園）

提言3 主要道路網の整備促進

- ◆ 荒砥橋の着実な早期完成に向けた要望活動
- ◆ 長井～白鷹間の西廻り幹線道路の実現
- ◆ 国道287号の下山、菖蒲地内の早期改良
- ◆ 生活関連道路の補修や改修



早期完成が望まれる

補正
予算

このように決めました

鷹山地区の活性化支援など

質 疑

【当局】今回は各個人デ
ータを扱うものではな
い。保育の毎日の業務
管理と聞いている。将
来は考えていきたい。

【委員】保育システム購
入による個人情報等の
セキュリティ対策は

保育所等、業務効率
化推進事業

セキュリティ対策は

【当局】当初は18地区を
想定したが、2地区で
申請に至らなかった。
また、事業単価の割
カットもあり、減額と
なった。

【委員】多面的機能支
払交付事業の減額の
要因は

多面的機能支払交
付金事業

減額の要因は



きれいに管理されている水田（鷹山地区）

平成28年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		2億278万円	83億5427万円
特別会計	下水道	14万円	7億5397万円
	国民健康保険	3500万円	18億9799万円
	農業集落排水	60万円	1億6590万円
	介護保険	96万円	16億7093万円

（万円未満は端数を調整しています。）

一般会計補正の主なもの

集落ネットワーク圏形成支援事業 1200万円
鷹山地域コミュニティ活性化事業の支援

ふるさと応援費 2250万円
寄附者の増加見込みによる基金積立及び謝礼
の追加計上

臨時福祉給付金（経済対策分） 4551万円
国の経済対策の一環として、所得の低い方を
対象に平成29年4月から平成31年9月まで
の2年半分を一括支給するもの

こども園施設型給付費負担金等 4382万円
入所実績及び保育単価の改定などに基づく
計上

保育園運営委託料 1426万円
入所実績及び保育単価の改定などに基づく
計上

保育所等、業務効率化推進事業 300万円
保育園、こども園の保育士の業務負担軽減を
はかるためICT化推進に向けた保育システム
購入支援

多面的機能支払交付金事業 △857万円

農地費 963万円
ため池等の安全対策（荻の窪ため池、金山沢
水路）

川戸・金剛地区ため池等整備事業 868万円
国の補正予算に対応するための県事業負担金
の追加計上

地籍調査事業費 2160万円
国の予算配分を受けて、平成29年度実施予定
分を前倒しで実施するもの
など

◎財源は国・県支出金、繰越金などで対応します。

請願・意見書

●TPP協定を国会で批准しないことを求める 請願

請願者 山形県食健連会長 加藤 静吾
山形県農民連会長 小林 茂樹

賛成少数のため **不採択**

賛成討論

TPP協定は、関税のみならず、食の安全、医療、雇用などあらゆる分野において問題を及ぼす。批准すれば、単価の引き下げを迫られること必定である。

●地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出

【提出先】衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣 ほか

意見書（要旨）

国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入の法整備を要望する。

条例・規約

●白鷹町町税条例等の一部改正

軽自動車税の環境性能割の創設、法人町民税の税率の見直しなどに関する改正。

●白鷹町農業委員会の委員等の定数に関する条例の設定

農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。

●白鷹町スポーツセンター整備基金条例の設定

白鷹町スポーツセンターを整備するための基金を設置するもの。
(白鷹町営体育館建設基金を組み替え)

●白鷹町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の設定

●白鷹町国民健康保険税条例の一部改正

●白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

●白鷹町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

●白鷹町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

●置賜広域行政事務組合規約の一部変更

すべて全会一致で可決されました。

契 約

●白鷹町ソフトボール場・野球場改修工事請負契約の一部変更

契約金額

変更前 1億7258万8320円

変更後 1億7357万3280円

野球場の内野壁クッションの補修、残土処分の内容の変更等、各工種の数量確定等にもない変更するもの。



装いも新たに（ソフトボール場）

寄附・貸付

11頁に関連記事

① 負担付きの寄附の受入れ

寄 附 物 件 土地（105,756.42㎡）
寄 附 者 山形鉄道株式会社
代表取締役社長 内谷 重治
寄附の条件 寄附後、山形鉄道株式会社に無償で貸付けること

② 財産の無償貸付

貸付する財産 土地（105,756.42㎡）
貸付の相手方 山形鉄道株式会社
代表取締役社長 内谷 重治
貸 付 の 目 的 フラワー長井線の鉄道用地とするため
貸 付 の 期 間 平成33年3月31日まで

※山形鉄道(株)フラワー長井線の経営形態の変更にともない、沿線自治体が山形鉄道(株)から鉄道用地を無償で譲り受け（寄附）、その用地を保有する①。沿線自治体は、その用地を山形鉄道(株)に無償で貸付ける②ための措置。

受動喫煙による健康被害への対策を

町長 今後も町報等で周知し、受動喫煙防止に取り組む



笹原俊一議員

受動喫煙防止の対策を

問

オリンピック開催を控え、国は受動喫煙対策に本腰を入れる。町としての対策は。

町長

昨年度11月「白鷹町受動喫煙防止宣言」を行った。町公共施設の建物内禁煙率は9割以上となり、健康教室などで禁煙に向けた相談も行っている。

健康に大きな影響があると言われていて、今後も町報などで周知しながら受動喫煙防止に取り組んでいきたい。

「子どもの健康づくり健診」の結果と対策は

問

今年度、希望者を対象に実施した健診の結果と今後の対策は。

健康福祉課長

98人が健診を受け、指導や受診が必要とされた人は37・8%。脂質異常が最多で、次いで貧血や高尿酸など、生活習慣を早急に改善しないと発病が心配される状況が見受けられた。

親の生活習慣が反映されることから親子一緒に生活の改善ができるようにしていく。

※ABC健診の実施を

問

特定健診の余剰血液でABC健診の実施を。

健康福祉課長

特定健診と同時に実施するのが一番良いと考えるが、導入については国や他市町村の動向をみて今後十分に検討する。

特定保健指導受講率向上の方策は

問

特定保健指導の受講率が低い。夜や土日に行うなど工夫してはどうか。

健康福祉課長

結果の説明が平日に行われている。今後は夜間や土日の開催も設定して、より多くの方が参加できるようにしていく。

緊急情報メール配信拡大とFAXサービス

問

希望者への緊急情報等のメール配信とFAX送信サービスを。

町長

メールは対象を広げべく検討していく。

総務課長

FAXサービスは本町のニーズに合った内容でできるか、実現に向けて検討を進めていきたい。

今後増加する免許証返納者への対策は

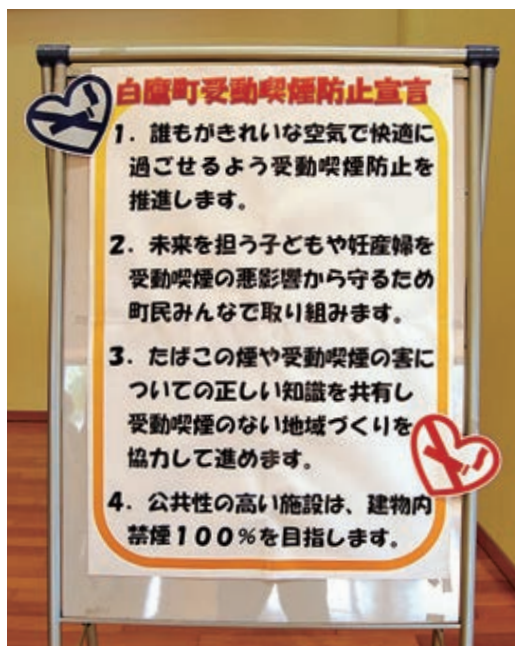
問

デマンドタクシー利用拡大の工夫を。

町長

現在デマンドを利用している方と返納された方への支援との公平性を考えながら取り組んでいく。

※ABC健診は、胃がんのリスクの原因となるピロリ菌の感染と胃の萎縮状況をABCDの4群に分類して評価する健診です。



就農者の移住に向けた環境整備は

町長 移住者ニーズをとらえ、受入環境を確立する



小口尚司議員

短期農業研修の受け入れは

問 2週間〜1ヶ月の短期農業研修の受け入れを検討しては。

農林主幹 現在、新入協議会で行っている研修は、1泊または2泊程度の短期研修にしか対応できない現状である。

中長期の研修の中で複数の作物の研修を受けられるなどメリットもあると考えられるので、もう少し検討していく必要がある。

宿泊施設として空き家活用を

問 研修生の宿泊施設として、またお試し移住体験などに空き家を活用できないか。

町長 施設を整備した場合の管理や使用する方々のニーズなども考える必要がある。

また、空き家も一戸一戸状態が違うので、いろいろな角度から話を伺い、少しでも役に立つようなものを考えていきたい。



農業への関心は高い（新・農業人フェア）

今後の農政への対応は

問 新規就農者の受け入れも含め、今後変化していく農政への対応は。

町長 今後、ある程度経験があり、広く町全体を見られる方の応援なども頼まなければならぬと思う。本町に合った取り組みを模索していく。

これからの子育て支援の在り方は

町長 国、県の対応を確実にとらえ、町独自の施策も実施していく

出産祝い金の検討を

問 負担軽減のため出産祝い金を検討しては。

町長 新年度から出産祝い金を準備していきたいが、ほかの自治体の制度を参考に、どのような形で祝い金を出せるか、今後の検討課題としたい。

遊び場の提供の考えは

問 子育て支援の一つとして、保護者から要望の多い遊び場の提供についての考えは。

町長 安全な遊び場を確保していくためには、町民の方々の合意形成も必要。町民の皆様方に喜んでもらえて、ほかの地域から来てもらえるものができるかどうか総合的に検討していく。

まちづくり複合施設整備の進め方を問う

町長 さまざまな、有利な財源を組み合わせながら取り組む



佐々木誠司議員

職人の確保は

問

建設が始まるまでに、町内の職人の協力体制は確立できるのか。

企画主幹

森林・林業再生コーディネーターを中心に、工事の受け皿となる職人の結集に向けて、調整をしていただ

いている。

経済活性化は続くのか

問

複合施設整備の完了後も、木材需要や職人技術の向上など、地域経済の活性化を維持する手立ては。

町長

民間での乾燥施設の整備や、新たな林業従事者なども増えてくることを考え、できる限り木材を使った在来工法で、公共施設をはじめとした施設づくりにのぞんでいきたい。

森林整備の現状は

問

木を切り出せない地域が多いが、森林整備の現状に合わせながら複合施設整備を進めるべきでは。

町長

地元産木材をできるだけ使い、喜ばれる施設づくりがあつてこそ次に展開す

るものと思っている。これをきつかけとして、良質な材料を確保できる環境づくりを進めていきたい。

事業費の増加は

問

基礎杭の変更やその他の理由により、今後さらなる事業費の増加は無いのか。

町長

物価上昇への対応も考慮し、設計者と事業費の精査、情報収集をはかり、さまざまな有利な財源を組み合わせながら取り組む。事業費や将来負担額に増減があつた場合は、理由とともに説明していきたい。

町債（借入金）の返済計画は

問

10億円を超える町債の返済計画は、人口減少による負担増加を見込んでい

町長

地方交付税制度により自治体経営が一定水準保障されており、人口減少によって、将来負担が増えるようなことはない。



新しい民間の木材乾燥施設

公共施設の将来のあり方を定めます

12月8日に委員会が開催され、本町が所有する公共施設などの管理計画策定について説明を受けた。

**全ての公共施設と
道路、橋、上下水
道が対象**

3月に公表

◇公共施設の更新・統廃合・長寿命化など、将来の課題に対処するため策定するもの。パブリックコメントも実施し29年3月に公表。

質疑

計画倒れにならないのか

委員 計画策定後、財源や人員が必要となった場合、実際に実施するのか。計画のみか。

当局 施設の更新が必要になった場合、どのような財源を活用する

か常に考えて取り組む。将来、財政破たんを起こさないよう計画的に対応しようということ。

する計画に。

当局 将来人口を予測し上下水道の計画を行うが、人口減少により使用量が減り施設維持が難しくなる。財源に配慮しながら取り組むたい。

町民全体で認識する計画に

委員 上下水道や施設が修繕時期にきていることを町民全体で認識



全ての施設が対象

3年間で80件の空き家が増加

空き家実態調査の結果と今後の取り組みについて説明を受けた。

利活用か、適正管理か、除却か

空き家調査の結果は

◇8月から9月にかけて空き家実態調査が実施され、空き家件数452件で3年間で80件増加した。

危険性のある空き

家が72件確認された。

◇今後、外観調査、立入調査、特定空き家認定と進む。

質疑

所有者の把握は

委員 持ち主不明の物件は把握しているか。

当局 所有者の権利調査は危険度が高いところを優先して行いたい。

調査期間は、それぞれの事情により変わってくる。

今年度1件調査を行ったが、約3ヶ月かかった。

解体補助は

委員 今年度実施した自主防災組織への解体補助は今後も行うのか。

当局 今回は緊急的に対応する必要があり実施した。今後は国の特別措置法にしたがい、所有者に対して行う。

その他

○青少年国際交流事業の実施状況

○ひがしね保育園の今後の方向性

などについて説明があった。



産建文教常任委員会

山の再生に向けて取り組みを新たに

12月9日に委員会が開催され、「白鷹町森林整備計画の見直し」について説明を受けた。

国、県の取り組みに
合わせ、町の森林整
備計画を見直し

新たな計画期間

平成29年4月1日～
平成39年3月31日
(10年計画)

計画の主な変更点

◆豪雨災害を受けて、
森林整備の現状と課
題を見直し

◆伐採と再造林に関す
る見直し

◆森林資源に合わせて
施業共同化の重点区
域を見直し

◆路網整備に関する山
の傾斜区分の変更

◆作業条件に応じた作
業システムの事項を
追加

質 疑

各地区への啓発は

委員 重点区域以外の
地区が、早期に整備を
始めるための啓発は。

当局 まず、財産区
と民有林の境界確認か
ら始めて、地域の協力
を得ながら、森林整備
に対する機運を盛り上
げていきたい。

林業者が少ないが

委員 林業従事者が少
ない中でどのように計
画を進めていくのか。

当局 経営計画に基づ
く整備にあわせて、自
伐型の林業も各地で進
めていただきたいながら、
林業振興を進めてい
く。



出荷を待つスギ苗木

観光協会 体制の強化をはかる

今後の観光の取り組みについて説明を受けた。

観光交流の推進、
課題と改善策は

現状での課題

◆関係団体の連携不足
◆他団体との併設事務
所による窓口機能の
低下

改善策

◆関係団体の情報交換
の場をつくる

◆単独事務所にして観
光窓口を一つにする

◆他団体との人事交流
や自主事業を充実

質 疑

荒砥駅の活用は

委員 単独事務所は必
要。荒砥駅を活用でき
ないか。

当局 山形鉄道の経営
体系も変わり、荒砥駅
の活用も検討していく。

「若者」との交流は

委員 中学、高校生と
の意見交換の場があっ
ても良いのではない
か。

当局 若い新たな柔軟
な発想は大切にしてい
くべきで、やる気にも
つながると思う。機会
を設けることができな
いか検討したい。



白鷹観光の玄関口（荒砥駅）

その他

- 新入学児童ランドセル贈呈事業
- 白鷹町生涯学習振興計画の策定
- 「日本の紅（あか）をつくる町」連携推進事業
- 買い物環境調査事業
- ヤナ場改修計画調査事業について説明があった。

上下分離方式が実現

11月25日に協議会が開催され、山形鉄道株式会社との鉄道事業再構築事業の取り組み状況について説明を受けた。

山形鉄道は経営に専念できる

国の負担が1/3から1/2に増額

◇11月14日、国土交通大臣から、鉄道事業再構築実施計画が認定され、「※上下分離方式」の導入となった。

◇沿線自治体が山形鉄道から鉄道用地の無償譲渡を受け、同社へ無償で貸し付ける。
◇国の支援が増え、将来的に県や沿線市町の負担の抑制になる。

※上下分離方式

事業者（山形鉄道）は、運行部分（上）を負担。沿線市町と県は、施設（下）の維持・補修に対して補助する仕組み。



期待をのせた紅花号

質疑

メリットは

委員 上下分離方式によるメリットは。

当局 山形鉄道は運行に専念できることとなり、アイデアを出して

頑張った分だけ利益につながる。

その他

○過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業
○地方税法等の一部改正に伴う町税条例の一部改正などについて説明があった。

農業委員会新制度 来年7月から

11月25日に協議会が開催され、農業委員会の新制度への移行について説明を受けた。

農業委員の成り手不足が課題か

新制度移行までの流れ

◇定数に関する条例、規則の制定等（今定例会にて可決）

◇報酬に関する条例の改正

◇推薦・公募・公表等

◇評価委員会による評価（29年5月）

◇選任者を議会に提案（29年6月議会）

◇農業委員の任命・推進委員の委嘱（29年7月）

委員の定数について

◇農業委員 11人

◇農地利用最適化推進委員 5人

質疑

委員の確保は

委員 成り手が少ない中で委員の確保をどうするのか。

当局 検討委員会の結果、定数を減らした。報酬も見直す必要があると考える。

評価委員は

委員 評価委員の構成についての案は。

当局 先行市町の事例を参考に、建設課や産業振興課などの、土地や農地に関係する課長などと考えている。

その他

○地籍調査事業の調査地拡張
○除雪計画
○白鷹町スポーツセンター構想の推進に向けた基金の設置
について説明があった。



おいしいお米を作っています

まちづくり複合施設等整備特別委員会

今年度、実施設計完了予定

12月7日に特別委員会が開催され、まちづくり複合施設整備事業の取り組み状況について説明を受けた。

実施設計が3月17日に完了予定

今後のスケジュール

- ・ 3月定例会 予算案 上程
- ・ 3月17日 実施設計 完了予定
- ・ 4月 特別委員会に 説明予定
- ・ 6月定例会 契約案件 上程

質疑

3月定例会までに設計完了を

委員 実施設計は3月17日にできるとのことだが、3月定例会までに間に合わせることはできないか。



模型で確認

当局 3月定例会には、はからないわけにはいかないかと認識している。その時点で、精度の高い内容を説明できるように、設計業者とも十分協議していく。

※柱状改良による方法では
委員 杭を打つのではなく、柱状改良による方法とした場合、事業費が減額にならないか。

当局 柱状改良の方が若干安いという場合もあるが、他の工種での費用の増減もあるため、全体事業費の中で確実に下がるとは言えない。いずれにしても、今後、設計士の提案を受けてから検討していく。

※軟弱地盤の土にセメントなどを混ぜて、柱状の強い地盤をつくる工法。

議会運営委員会研修

住民の声が届く、住民目線の議会

会津若松市議会

平成28年9月29日から30日まで

会津若松市議会では、市民意見交換会で出されたテーマを調査・分析し、当局に提案。その結果を次回の意見交換会で各地区に報告している。議員活動がより住民に見えることとなり、ぜひ取り入れるべきであると感じた。

住民の方々の声が届く、住民目線の議会となることで、はじめて住んで良かったと実感されるものであり、これからの議会活動に参考になった視察研修であった。



町議会議員に渡部善美氏が初当選

平成28年10月16日に行われた、町議会議員補欠選挙で渡部善美氏が初当選しました。渡部議員は、産建文教常任委員会に所属となります。これからの活躍に期待します。



アンケートへのご協力ありがとうございました。

— 結果をご報告します —

10月24日発行の「議会だより」に同封したアンケートの結果について報告します。

◆回答数 48人

◆性別 男：30人 女：18人

◆年代	10代	0人	20代	1人	30代	1人
	40代	3人	50代	3人	60代	14人
	70代	22人	80代以上	3人		

◆質問

・毎号みていただいていますか

見ている	43
時々見ている	4
見ていない	0

・見やすい、読みやすいと思う紙面は

写真が良い	17	色使いが良い	6
見出しで内容がわかる	17	議会のことがわかる	28
文章が分かりやすい	18	その他	2

・見にくい、読みにくいと思う紙面は

言葉が専門的	20	色が多く目が疲れる	8
文章が長い	9	内容が面白くない	2
文章がわかりづらい	14	その他	4

※平成29年1月17日時点の集計結果です。

※未回答により、合計数が合わないところがあります。

「議会だより」アンケートにつきまして、多数、ご回答いただき、ありがとうございました。

皆様方から、関心を持って見ていただいていることを実感し、喜びを感じるとともに、改めて伝えることの大切さ、難しさを認識したところであります。

貴重なご意見、ご感想につきましては、今後の参考にさせていただきます。

より良い「議会だより」そして議会となるよう、さらに努力してまいります。今後とも、よろしくお願いいたします。



主なご意見・ご感想

- 文字を大きくしてほしい。
- もう少し詳しく知りたい。
- 紙面がバラついている。
- 平易なことばであるとわかりやすい。
- ふりがなをもっと使う。

- 紙面が見やすい。
- 人々の生活を感じる事ができて、たのしみにしている。
- 誰が町の未来に責任を取ろうとしているかがわかる。
- まちづくりに議会の立場で頑張ってもらいたい。
- いちど議会見学をしてみたい。

アンケートはがきの差出有効期限は平成29年3月31日までとなっております。期限内は随時受け付けておりますので、ぜひ、お気軽にご回答ください。



毎日、地元の食材をたっぷり使った美味しい献立です。ほっぺたにご飯粒を付けながら、今日も全部きれいにいただきました。

表紙
荒砥小学校に何つたのはちょうどお昼の時でした。1年生の教室では、給食当番の手際の良い盛り付けにより15分ほどで準備を終え、「いただきます」の合図でみんな静かに食事を始めました。

議会になになぜ？



議会に対する素朴な疑問をQ & A方式で
分かりやすく解説します。

なぜ今、情報公開？



Q 議会や議員の情報公開が話題になっているけど…

A 全国各地で一部の議員による「政務活動費」の使い方に関する問題があり注目されています。

収支報告書に領収書などの提出書類が義務付けられていなかったり、使い方が不明確だったり、議会や議員に対する不信感が高まっているためかと思われます。

Q あらためて「政務活動費」ってなに

A 地方自治法及び条例で定められており、議員報酬とは別に、町の政策や議員自らが政策提言について、調査研究等するための活動費として支給されるものです。

白鷹町は月5千円（年間6万円）が支給

されています。

Q 白鷹町の提出書類

A 収支報告書と裏付けとなる領収書の添付が必要です。

Q その収支報告書と領収書は見ることできるの

A 過去2年分については、収支報告書をもとに一覧表を議会報に掲載しています。

領収書を見るには情報公開に基づく申請をしてからになります。

Q もっと簡単に見ることはできないの

A 政務活動費の領収書については、今年度分の報告書からホームページで公開することにしました。

また、議会活性化の一環として、会議録も

公開することにしました。

このことにより、いつでも見ることができるようになります。

Q 情報公開は当然だと思っけど…

A 情報公開により、

議会の透明性を高め、説明責任を果たすとともに、議員活動もわかりやすくしていくことが、町民の皆さまの信頼性を確保していくために大事なことです。





— あの質問のゆくえ —

史料館(展示室)の設置を

町の歴史や文化の史料保存や集積展示・学習のための施設として、子どもたちに伝えていく為にも史料館(展示室)は是非必要だ。中央公民館リニューアルの一部として検討できないか。
平成23年6月

教育長
答弁

中央公民館 リニューアル構想のなかで考える

中央公民館リニューアル構想のなかで、2階に計画している展示室は、本町の季節別の風俗や習慣、時代別の生活の様子などを展示して学習できる場としても考えているが、中央公民館、図書館と合わせた中で検討していく。

どうなった



保管されている史料

平成23年当時、図書館・中央公民館については、リニューアルと新築の両方の計画案を作成し検討していました。

しかし、23年3月の東日本大震災により防災上の新たな課題に直面したことから、町では、24年に再配置計画を策定し、25年より役場庁舎を含めた防災機能を有する「まちづくり複合施設」の検討を進めてきました。

この中で、展示スペースとして1階の町民ラウンジやミーティングコーナー、2階のホワイエ(空間)などを想定していますが、ここでの歴史資料等の展示は難しい状況です。

資料館的な展示室については、既存の公共施設や建築物を有効活用する方向で検討していきます。

なお、図書館については、町の歴史や魅力を次世代に伝えられるよう史料等の充実をはかっていきます。

事業の検証と評価

現在は、貴重な史料等が有効に活用されていない状態である。

今後、既存の公共施設利用も含めて検討することであるが、明確に「白鷹町歴史資料館」として位置づけ、先人達が築いた白鷹町の歴史を顕彰すると共に、子どもたちの学習の場となるような施設になるように望む。





佐藤美晴さん
(鮎貝地区)

なんで屋根に
人が上がって
いるの!?

インタビュー よいござったなっすー

地元に残りたいと答えた 子どもの少なさに驚きました。

静かでゆっくりした
中に時折話す京都こと
ばのアクセントが印象
的な方でした。

出身はどちらですか。

京都府和束町わづちまうの生まれです。山々に囲まれ、茶畑が広がる静かな町です。地元でとれる「和束茶」は甘く、出がらしも食べられます。葉っぱが長いのが特徴です。
美しい茶畑の風景が「日本遺産」に指定されました。

白鷹町に来て驚いたことはありましたか。

冬に結婚したのですが、どの家の屋根にも雪下ろしで人がいる光景は衝撃的でした。冬にこんなに肉体的労働するなんてびっくりでした。

主人に長靴を買いに連れて行かれました。大人になって長靴をはくとは思っていませんでした。

言葉はどうでしたか。

看護師として白鷹病院に勤め始めたころ、患者さんの言葉がわからず、先生から解説していただいたこともありました。

また、主人とお義母さんに「なに話してるの?」と聞いたら、「お前の話をしていたんだ」と言われたこともあり、言葉が省略して言われるのでわからなかったです。

白鷹町でいいねと思う事はありますか。

食材が豊富で、きのこや山菜の種類の多さは驚きです。味の濃さもあまり気になりません。

子どもの医療費無料化は助かります。一時的な病気だけでなく、アレルギーなど、薬を長く飲み続けなければならぬ病気もあるからです。

お仕事はどうですか。

大変な仕事ですが、辛い状況に置かれている患者さんたちのためにみんなで協力し合っています。

お子さんは。

子どもは高1、中2、小5です。先日、小学校でのアンケートで、地元に残りたいと答えた子どもの少なさに驚かされました。



かされました。
町や議会へ望むことはありますか。

今日、初めて議員さんと話しました。遠い存在に感じます。

町の仕事も身近にわかりませんし伝わってこないですね。町の広報には書いてあるのでしようけど、日々の生活に追われてじっくりと読む時間もありません。

わかりやすく説明していただける機会があるとありがたいと思います。

編集後記



新年あけましておめでとうございます。

昨年10月発行の「議会だより」に折り込みましたアンケートの結果を掲載しました。町民の皆様とのやり取りを記事にできたことは「町民参加の議会づくり」へ大きな励みになりました。

今年はとり年。これからも紙面づくりに『チキン』と『とり』組んでいきます……? 誤字のないように!

(小口)

広報委員

委員長 山田 仁
副委員長・編集長 小口 尚司
委員 石川 重二
委員 佐々木 誠司
委員 笹原 俊一
印刷・長谷川印刷